



2022-23年度RI会長

ジェニファー・ジョーンズ

第2640地区ガバナー：森本 芳宣

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：岡本 博

幹事：前田 吉彦



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告

会長 岡本 博



- 本日のお客様は、
田辺市教育委員会 生涯学習課 地域教育指導
谷本 敬介(たにもと けいすけ)様
田辺市教育委員会 生涯学習課 公民館係
小林 大斗(こばやし ひろと)様です。
後ほど宜しくお願ひします。

- 本日のお弁当は「福福」さんです。
ご賞味ください。



- 11月9日定例理事会のご報告を致します。

- ◎次次期会長候補者、次期理事候補者選考報告について…承認
- ◎年次総会について 12月7日(水) 一別紙年次総会
手順資料あり…承認
- ◎令和4年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動街頭啓
発の参加をメイクアップとすることについて
11月19日(土) 参加人数最大2名まで…承認
- ◎忘年会の場所について
12月7日(水) 18:30～ 銀ちろ本店
- ◎例会用ノートパソコン(プロジェクター用) 部品
修理について…承認



○幹事報告

幹事 前田 吉彦



- 例会日時変更

- ◎串本ロータリークラブ
12月13日(火)、27日(火) → 例会取り止め
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
12月6日(火)、20日(火) → 18:30～(夜間例会)
場所：旧ヒルトップ和田金

- メイクアップ

- ◎11月9日(水) 定例理事会
岡本博君、前田吉彦君、片井貢君、森本修至君、
野村憲司君、佐田一三君、谷本司君、
山本亘君、丸山健君、湯川和洋君

- 回覧

- ◎和歌山県水上安全協会より
「2023年版わかやま県民手帳のお届けについて」
- ◎国連UNHCR協会より
「防寒支援のお願い」

- ◎南方熊楠顕彰会より

「イベントのご案内～南方を訪ねてin那智山・妙
宝山～」

- ◎国際ロータリー第2650地区より

「2022年手続要覧印刷冊子分譲のご案内」

- ◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より

「ハイライトよねやま 272号」

- ◎森本ガバナー事務所より

「メルボルン国際大会日本人親善朝食会のご案内」

- 連絡

- ◎11月18日(金)きのくに信用金庫様のエレベーター
工事が始まります。終了予定は11月28日(月)です。
- ◎次週11月23日(水・祝)の例会は休会となります。
- ◎11月30日(水)株式会社カナセ様移動例会です。
※自家用車の皆様、お乗り合わせの皆様、工場裏手
に駐車場もごさいます。お間違えの無いようよろ
しくお願ひいたします。
- ※クラブ奉仕B委員会(SAAと親睦委員会)は12:00に
集合してください。例会準備等のお手伝いをお願
ひいたします。



○本日の唱歌

「故郷」

唱歌 岩崎 泰人君



○出席報告

会員数 37名 義務免除 5名 本日の欠席者 4名
本日の出席率 87.5%



○ゲスト

田辺市教育委員会 生涯学習課 地域教育指導員
谷本 敬介様

田辺市教育委員会 生涯学習課 公民館係
小林 大斗様



○にこにこ報告 (敬称略)

◇田辺市教育委員会 生涯学習課
地域教育指導員 谷本 敬介様
田辺市教育委員会 生涯学習課
公民館係 小林 大斗様 をお迎えして

愛須勝章、上原俊宏、岡本博、片井貢、
佐田一三、武田静也、竹中悟、竹村英一
谷中順次郎、玉置佳範、中嶋伸和、西谷貞彦、
野村憲司、橋本隆、平林圭介、本田耕二、
前田吉彦、真下京、森本修至、山本亘

◇谷本先生、東陽中学校ではお世話になりました。
畔田実

◇市教育委員会谷本敬介様、小林大斗様ようこそ、
本日、卓話よろしく。

泉房次朗

◇お花いただきます。

龍見小夜子

☆本日もニコニコありがとうございました。

○本日のプログラム

田辺市教育委員会 生涯学習課
地域教育指導員 谷本 敬介様
田辺市教育委員会 生涯学習課
公民館係 小林 大斗様



「田辺市の子供を取りまく現状と課題」

少子化に伴い、学校数も減少
令和4年度 39校(小学校29校、中学校14校)

昭和50年以降の学校統合の状況

- ・旧田辺市 +1校 -3校 計-2校
- ・大塔地区 -12校(内分校 1)
- ・中辺路・近野地区 -1校
- ・龍神地区 -9校(内分校 1)
- ・本宮地区 -10校(内分校 2)

子供を取りまく現状 1 少子化

田辺市の小中学校児童生徒数の推移

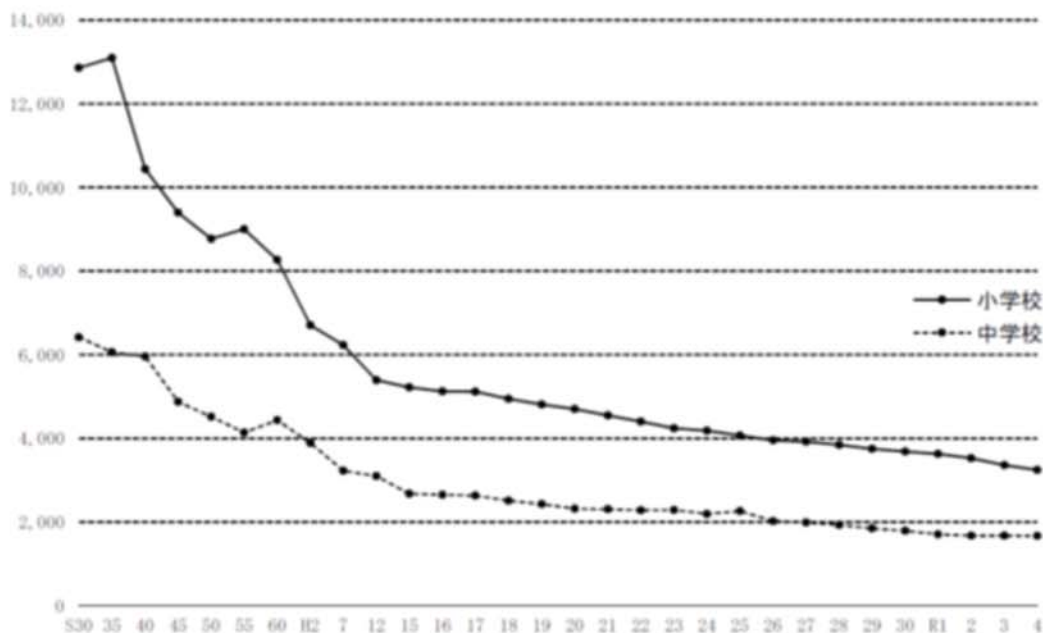
年度	昭和	S30	35	40	45	50	55	60	平成	H2	7	12
小学校 (人)	12,856	13,094	10,433	9,391	8,766	8,996	8,261	6,701	6,228	5,393		
中学校 (人)	6,416	6,056	5,952	4,875	4,514	4,138	4,430	3,893	3,226	3,100		

年度	平成	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
小学校 (人)	5,221	5,124	5,119	4,942	4,812	4,704	4,551	4,399	4,242	4,181	
中学校 (人)	2,673	2,648	2,634	2,511	2,428	2,317	2,308	2,278	2,286	2,187	

年度	平成	25	26	27	28	29	30	令和	1	2	3	4
小学校 (人)	4,072	3,951	3,925	3,846	3,752	3,684	3,629	3,528	3,360	3,244		
中学校 (人)	2,263	2,019	1,985	1,931	1,848	1,790	1,705	1,672	1,675	1,666		

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

小中学校 児童生徒数の推移



子供を取りまく現状と課題 2

地域の教育力の低下

(地域で子供を支える力が低下している。)

田辺市には地域で子供を支える団体がいくつかあります。

- ① 田辺市子どもクラブ育成協議会
 - ② 田辺市PTA連合会
 - ③ 田辺市青少年育成市民会議
- その他、町内会、公民館等々

①田辺市子どもクラブ育成協議会

昭和40年頃から町内会を基本にして結成された。行事は「総会、夏の親善体育大会(ソフト・キック大会)→ドッジボール大会、市民親子ハイキング、親子バスピン大会、駅伝大会等々」少子化の影響により単位子どもクラブの再編、統合が進んでいる。

平成8年 114→平成15年 110→令和3年 96
→令和4年 81団体

加入率の低下 かつては90%以上

平成17年 78.7%→令和3年度 52.3%

役員のなり手がいない

他に子どもに係わる組織や団体ができてきた。

②田辺市PTA連合会

各単位PTAの活動を」中心として、組織されている。

市町村合併後、ブロックごとに役員を持ち回っている。

行事は「総会、研修会、教育委員会との懇談会、県教育委員会への陳情、全国大会、近畿大会への参加、県PTA指導者研修会への参加等々」

戦後GHQの指導で結成されることに。学校を支援する一番の組織に。

取組のマネリ化

役員のなり手がいない

※特にコロナ禍の中で取組が停滞

全国的にはPTAに加入しない保護者もいる。

日本PTA全国協議会から脱退した都道府県組織も。



③田辺市子青少年育成市民会議

昭和53年家庭・地域の教育力を結集して次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的として結成されている。

児童生徒、青少年に係わる各団体から選出された委員を中心に組織している。

具体的な活動行事は「総会、研修会、市民大会の実施、さらに19の校区協議会・地区協議会があり地域に即した活動を実施している。」

かつては青少年の非行問題等の防止活動が中心であったが、近年は特にスマホやSNSによる被害やトラブルに巻き込まれないよう啓発活動に力を入れている。

和歌山県青少年育成協会 知事が会長

- ・各学校ごとに「学社融合推進委員会」を設置し、「地域とともにある学校づくり」を目指して取組を充実させている。

具体的には

小学校学習支援 生活科 秋みつけ
地域の皆さんを招待して！
地域の方の指導で… 国語(俳句づくり)
学習支援ボランティア



公民(公民館の仕事) 社会科
公民館主事が講師を！初めての試み
公民館の活動について、児童に分かるように説明をしました。
児童の質問には、丁寧に答えるようにしました。

コロナ禍での工夫ある取組 まちたんけん
小学校と公民館がつながって
公民館主事が現地リポーターとして活躍！
中学校バラ園の整備
小学校古道ジュニア語り部
ふるさとの歴史・文化の継承
中学校 防災訓練 など

このように、田辺市では多くの地域の皆様が学校教育にかかわっていただいています。かつては学校の先生と保護者だけで子どもたちを育てていましたが、市民総ぐるみで地域の子どもの育んでいく体制ができあがり、子どもたちの学びや健全な育成に大きく貢献していると考えられています。

昔より、複雑化、多様化する社会、世界を子どもたちは生き抜いていかなければなりません。子どもたちをよりよい方向へ導いていく責任をこれからも私たち大人は負っていかなければならないのではないのでしょうか。

大人が変われば子どももかわる

子どもを取りまく現状 3

家庭の教育力の低下



- ・核家族
- ・地域社会の希薄化
※隣は何をする人ぞ
- ・児童虐待、貧困、ヤングケアラー
負の連鎖、※親ガチャ
- ・スマホ、SNSの発達

田辺市教育委員会の取組

学社融合(がくしゃゆうごう)の推進

子どもを取りまくこのような状況の中で自らの力で未来を切り拓き、たくましく生き抜いていく子どもを育てるために、学校・家庭・地域が連携・協働し、「学校の教育力」(学)と「地域の教育力」(社)が一体となって、子育てや地域づくりに取り組むため、平成19年度から最重点項目に位置づけ、がっこうと公民館が連携・協力し地域全体で子どもたちを育てる取組を継続・拡充している。

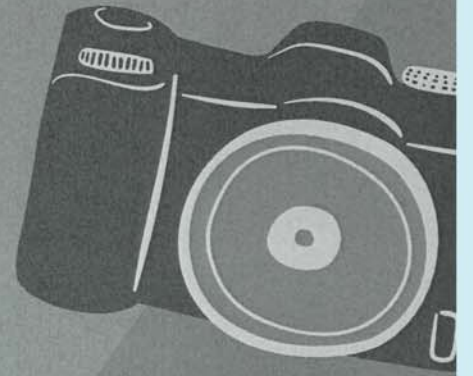
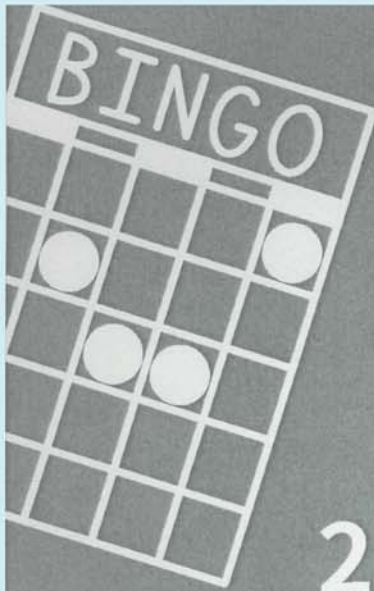
〇今日のお弁当

本日のお弁当は「福福」さんのお弁当でした。美味しく頂きました。



〇次回プログラム

- ◎11月23日 祝日休会
- ◎11月30日 職場訪問 移動例会 (株)カナセ
- ◎12月7日 年次総会
- ◎12月14日 外卓 (有)木村電気商会 代表取締役 木村陽一様
- ◎12月28日 休会(年末)



22歳、集まれ。

22祭

~BACK TO TWENTY~



皆とつながり、思い出を語り、明日を作る

2023年1月7日（土）

紀南文化会館

同級生が一度に集まれるのはこれが最後だと思っています。
0からのスタートである『22祭』、皆様のご協力をお願い致します。

22祭実行委員会 委員長 中島 野乃世



クラウドファンディング
にも挑戦中！



22.BACK.TO.TWENTY_
インスタグラム

【問合せ先 22祭実行委員会事務局】
〒646-0028 田辺市高雄一丁目23-1
メール：22sai.0107@gmail.com
TEL : 080-1466-9094 (中島)

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか